



絶景!



毎年こどもの日に  
モデルロケットを  
打ち上げています

関崎海星館館長  
川田政昭さん

5月中旬から6月上旬に1,000頭以上飛来するアサギマダラ。6月にはアジサイも見頃を迎えます。



今回お話を聞いた星空案内人の清水清美さん。子どもたちにも分かりやすい丁寧な解説で天体ファンを魅了しています。「海と星を楽しみながら学びイベントもお薦めです。ぜひ、遊びに来てくださいね。」

関崎海星館 ☎574・0100

敷地内には、水仙やアジサイなど季節ごとの花々が咲き、5月には2000キロメートルもの長旅をするといわれる大型の蝶アサギマダラが飛来の最盛期を迎える関崎海星館。潮風が心地よく吹き、美しい自然と星空に触れることができるこれからの季節にお薦めのスポットです。



上:遊歩道を300段ほど下るとたどり着く、県内最古の灯台「関崎灯台」。イギリス製「フレネルレンズ」(写真右上)は2009年のLED化に伴い交換され、関崎海星館1階に展示されています。

下:天体観測室(大人420円、高校生210円、中学生以下無料)に設置されている、大きな反射式望遠鏡。受付時間内ならいつでも観察できます。

毎年、さまざまな惑星や流星群の観察会が開催されていますが、今年を逃すと今後10年は見られないという6月21日(日)の部分日食と、2年2か月ぶりに火星が地球に最接近する10月6日(火)の観察会は注目のイベントです。また、8月9日(日)には25周年記念講演として、JAXA宇宙科学研究所から

宇宙の不思議を体感!  
大分が誇る天文学科学館

眼下に「関崎灯台」と「速吸瀬戸」を望む展望・天体観測施設「関崎海星館」。地域の子どもたちの期待に応えて誕生し、名前も一般公募で決まったという経緯があるこの施設は、今年で開館25周年を迎えます。

天体観測室では、昼間でも月や金星、一等星など明るい天体が観察でき、太陽観察用望遠鏡では、太陽黒点や太陽の周囲から噴出するプロミネンスも見ることが出来ます。

